

## 1 事業内容

団体名	ひがし北海道市民防災サポート
事業名	ひがし北海道防災スクール2023
課題テーマ	安心して暮らせる都市
事業提案の背景	千島海溝巨大地震・津波による被害が想定されている本市ではあるが、防災・減災の自助・共助の市民の取り組みは十分ではなく、意識向上が急がれます。
事業目的	遭遇してしまうかも知れない災害を正しく理解すると共に備えや避難行動といった自助の意識を高め、併せて被災時の支え合い・共助の必要性を考えるきっかけとなるものとする。
事業内容	イオンモール釧路昭和を会場とし、2日間にわたって以下の事業を展開した。 ※来場者数は約1,000名 <u>10月7日・プレイベント</u> ・市民防災フォーラム <u>10月8日・メインイベント</u> ・ワークショップ…ゲームや講話を通じ防災を学ぶ ・防災クイズラリー ・防災を学ぶ展示コーナー ・被災時の共助、災害ボランティアを学ぶコーナー ・防災情報の活用体験コーナー(釧路市 Web ハザードマップ) ・演奏(光陽小、鳥取小、釧路太平洋太鼓) ・演舞(ミナオドーレくしろ、鳥取傘踊り保存会)
成果目標の達成状況	ワークショップやクイズラリーを通じて災害への備えと被災後の自助共助の必要性を多くの方に触れて頂くことができたと考えます。
波及効果の達成状況	公助に頼るだけでなく自助・共助の必要性を理解した市民が、他の防災関連行事に参加してさらに知見を得る機会が増えていると感じる。
実施体制	ひがし北海道市民防災サポート事務局 代表、副代表2名、事務局スタッフ1名
連携した市担当課	無 ・ <input checked="" type="radio"/> (総務部 防災危機管理課)
連携した市担当課が果たした役割(※有の場合)	広報協力、並びに防災情報、資料、資機材の提供 市民防災フォーラムへの登壇 会場内における災害対策展示の実施

## 2 支出決算書と支出内訳

(収入)

費目	決算額 (円)	内訳
輝くまちづくり交付金	300,000	
自己資金	68,976	
合計	368,976	

(支出)

費目	決算額 (円)	内訳
対象経費		
謝礼	30,000	招聘講師1名
消耗品費	18,024	テープ、クリップボードなど
印刷製本費	66,085	ポスター、チラシ、配布資料の印刷
役務費	8,336	イベント損害保険、送料
使用料・賃借料	172,145	什器レンタル代、レンタカー代
旅費	28,248	招聘講師旅費、宿泊費
小計	322,838	
対象外経費		
会議費	2,042	フォーラム懇親会経費
飲食費	35,025	スタッフ・出演者弁当代 ほか
広報費	9,071	防災クイズ景品代
小計	46,138	
合計	368,976	